

3分でわかるオンライン RIMS 共同研究の「虎の巻」

オンライン開催ってどうするの？お困りの方に役に立つポイントをピックアップしました。

◆講演者募集、プログラム作成、参加者募集(事前申込)までは「通常の RIMS 共同研究」と同じ進め方です。

Zoom のことで悩む前に…まずは通常の RIMS 共同研究と同じように進めてください。

◆次に…まずは Zoom を触ってみましょう。無料版で40分まで自由に使えます。

オンライン共同研究で使う主な Zoom の機能は…

- ・「画面共有」機能による pdf 等での講演
 - ・「チャット」機能による質問
 - ・「待機室」機能による、部外者参加のチェック、管理
 - ・「ミュート」機能による参加者の発言管理
- などです。色々試してみてください。

◆Zoom に慣れたら、基本設定について RIMS 担当者と綿密に打ち合わせをしましょう。

開催してしまうと、すぐには変更できない設定もあります。

- ・「待機室」を有効にする？参加者の確認や入室承認など大変ですが、セキュリティは UP
- ・「チャット」有効にして質問？「挙手」による音声での質問？どちらも有効？
- ・当日参加希望者はどうする？ →公開型的か？グループ型的か？の分かれ道！基本設定にも関係します。

◆基本設定が決まったら「招待メール」を「代表者から参加申込者へ」送ります。

基本設定が決まれば、RIMS 担当者が当日用のミーティングルームを立ち上げて、招待メールを作成します。

代表者から参加申込者に招待メールを送ってください。招待メールには「Zoom への事前登録」が案内され、登録すると当日のミーティングルーム URL が届きます。

◆「Zoom への事前登録」って何ですか？

代表者が事前に行う「参加者募集(事前申込)」ではありません。オンライン RIMS 共同研究用に必要な管理上の手続きです。事前登録の情報(氏名)は当日の Zoom 上の表示氏名になります。

※※Zoom の「事前登録」機能を使えば、もしかすると某フォーム等を使った「参加者募集」が不要かもしれません！※※

→<参考>「Zoom の事前登録の進め方」

<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/kyoten/ja/files/jizen-toroku.pdf>

◆必ずリハーサルしましょう。できれば開催日までに！(これで安心です。)

- ・講演者の画面共有がうまくいくか？画面共有しながら参加者の状況が見られるか？
- ・相手の声が聞こえるか？こちらの声が届いているか？(自分の PC の設定ミスかも？)
- ・ホストは、講演者への共同ホストの指定がうまくできるか？
- ・ホスト(共同ホスト)は、参加者の「音声」「カメラ映像」を強制ミュートできるか？

◆「通常の共同研究」に近づけるために…「新しい生活様式での共同研究」ってどうしたらいいの？

- ・一方的な講義になりがちですよね？…質問をしやすい「雰囲気」を作りましょう！
⇒ 複数の共同ホストに質問やチャットの管理を頼みましょう。活発な質疑応答につながります！
- ・参加者同士の交流はできるの？…休憩中、終了後などの「すきま時間」も議論ができるかも？
⇒ 例えば1…Zoom の「ブレイクアウトルーム」を利用して、複数の「談話室」を設置する！
こんなイメージ：
① ブレイクアウトルームを複数用意しておき、休憩時間に「参加者を全員共同ホストにする」
② 参加者は任意のブレイクアウトルームに入ること、ルームを自由に移動することが出来る
※共同ホストにすると、様々な権限を与えてしまうので、規模の大きな場合は注意が必要
※9 月下旬 Zoom のアップデートで、参加者が自由にブレイクアウトルームを移動できるようになりました！これで便利になりますね！
- ⇒ 例えば 2…無料版 Zoom を複数用意して当日用の「臨時的談話室」にする！
こんなイメージ：
① 本会場の Zoom で講演、質疑応答終了したら、代表者がチャットで談話会用 Zoom の URL を案内
② 参加者はチャットを見て、談話会用 Zoom に各自入退室し、研究交流を行う
③ 談話会用 Zoom は自由に入退室、プライベートチャットなど行えるよう設定
④ 無料版でも 40 分連続使用可能。3グループ程度用意すると効果的

⇒RIMS ウェブサイトのこちらも参考にしてください。

オンライン開催・・・参加者同士の議論・交流はどうするの？お困りの方に。

*バーチャル空間での議論に役立つアプリ／ツール集

<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/kyoten/ja/files/giron.pdf>